

大人気のすべり台

2016
なかどまり冬まつり

スポット
Spotlight
ライト



4回目の開催となった冬のイベント「なかどまり冬まつり」が、1月30日(土)農産加工販売施設ピュアで行われ、500人が来場しました。

オープニングは応援に駆け付けた当町イメージキャラクターの米ケル・イカリん・米ケルJr.のダンスとお馴染みこども園児童によるお遊戯が披露され盛り上がりしました。

会場では、すべり台や馬そり、かき氷早食い選手権などのイベントや振る舞いが行われ、中でもすべり台は、大人気でした。子どもたちは「すべり台が楽しい。もう1回すべりたい」と楽しそうに話し、冬まつりが終わるまで歓声が響いていました。

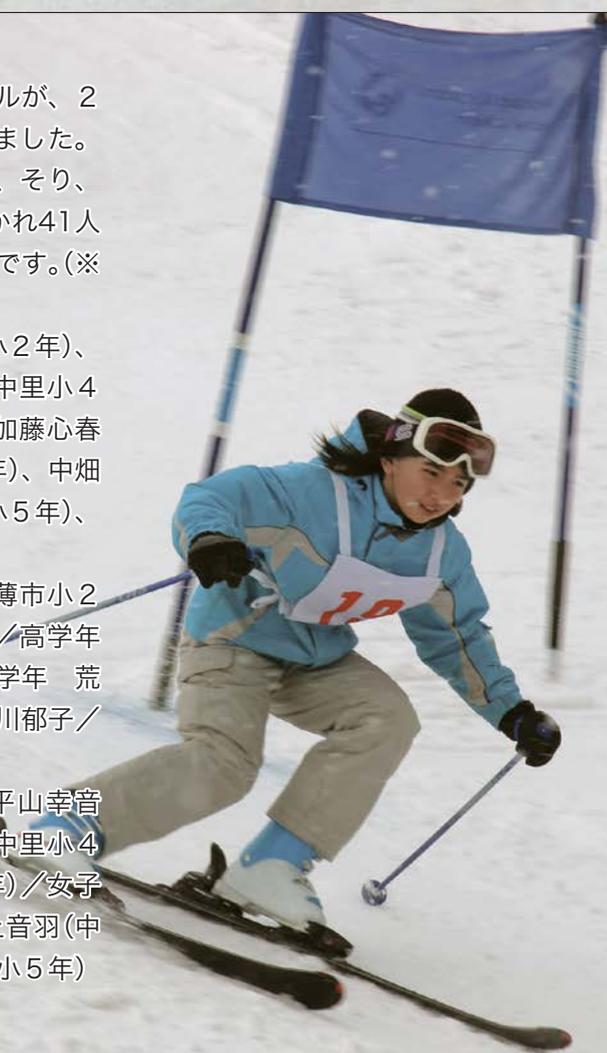
また、今年は活性化施設内でフリーマーケットも同時開催され、高齢者のみさんの参加もみられました。

学童スキー・スノーフェスティバルが、2月11日(木)宮野沢スキー場で行われました。大会は、幼児(そり)、小学生(回転、そり、フラッグ、ばんば、綱引き)、に分かれ41人が参加しました。結果は次のとおりです。(※優勝者のみの掲載、一般は省略)

■回転競技…男子 新谷唯斗(中里小2年)、小鹿翔平(中里小3年)、外崎隼矢(中里小4年)、坂田陽(中里小5年) / 女子 加藤心春(中里小2年)、古川郁子(中里小3年)、中畑里穂(中里小4年)、古川萌子(中里小5年)、中畑柚乃(中里小6年)

■そり…男子 低学年 中村輔孔(薄市小2年) / 中学年 加藤春(中里小4年) / 高学年 坂田陽 / 女子 幼児 外崎滯 / 低学年 荒関いち(中里小2年) / 中学年 古川郁子 / 高学年 古川萌子

■雪上フラッグ…男子 低学年 平山幸音(薄市小2年) / 中学年 鎌田朝陽(中里小4年) / 高学年 奈良佳輝(中里小5年) / 女子 低学年 加藤心春 / 中学年 三上音羽(中里小4年) / 高学年 小野美羽(中里小5年)



雪上の熱き勝負

学童スキー大会・スノーフェスティバル

10団体、個人79人が受賞

平成27年度
町教育文化賞・スポーツ賞授与式



町の文化・スポーツに功績のあった人や優秀な成績を取めた個人・団体に贈られる教育委員会文化・スポーツ賞授与式が、2月21日(日)パルナスで行われました。

式では、表彰状や記念メダルなどの授与、主催者や来賓の挨拶が行われ、受賞者の活躍を讃えました。

受賞者を代表して、私立五所川原商業高校3年・青山ほのかさんが「このような賞をいただくことができ大変名誉なことだと思っています。今後も町の文化スポーツ発展に貢献できるように努力したい。この受賞を

励みに新しい目標に向かって精進したい」と謝辞を述べました。

☆受賞者(カッコ内は所属・学校・学年。敬称略)

■教育文化賞

【文化功労賞】

なにもささ保存会(代表・坂田久仁彦)／宮川獅子舞保存会(会長・古川環)／中里横笛愛好会(会長・工藤強志)／小泊権現太鼓保存会(代表・阿部弘喜)／下前権現太刀振り保存会(代表・角田廣)／小泊網おこしはやし保存会(代表・柳澤良知)

【少年文化奨励賞】

書道：菅原有紗(武田小2年)／絵画：佐藤魁人(武田小1年)・新岡晃成(中里中3年)／音楽：竹内花子(高一1年)・佐藤星恩(高一1年)・山中唯華(高一1年)・鈴木玲緒(高一1年)・中谷鈴奈(高一1年)・敦賀楓恋(高一1年)・越野莉音(高一1年)・古川真衣(高一2年)・戸来裕紀(高一3年)／芸能：葛西大河(高一2年)・今陽那登(高一2年)／ロボット：磯野海吏(小泊中2年)

■スポーツ賞

【指導者賞】

相馬誠(中泊町体育協会・スキー部)

【団体賞】



謝辞を述べる青山ほのかさん

町体育協会陸上競技部・町体育協会相撲部・中里中学校女子ソフトテニス部・武田小学校武田クラブ

【努力賞】

陸上：松谷温翔(中里小5年)・小野倅太郎(中里小5年)・北島優汰(小泊小5年)・米塚孔喜(中里小6年)・佐野凱春(中里小6年)／柔道：佐井川友也(武田小2年)・佐藤優成(武田小2年)・片山謙心(武田小3年)・田中永喜(武田小4年)／相撲：成田力道(薄市小5年)／野球：三上拓斗(武田小6年)・鈴木朱季(武田小6年)・佐藤顕立(武田小6年)・木元翔太(武田小6年)・前田陸夢(武田小6年)・川島天心(中里小6年)・中道優磨(薄市小6年)

【奨励賞】

陸上：佐藤風雅(中里中1年)・中村真実(中里中1年)・恩田りく(中里中1年)・鈴木陽翔(中里中1年)・藤崎琴梨(中里中1年)・下山誉人(木

造高1年)・佐々木大空(木造高2年)・古川真人(木造高3年)・成田誠人(金木高市浦分校1年)・三上慎司(体協陸上部)・川浪貴久(体協陸上部)・白塚勇人(体協陸上部)・田中礼一(体協陸上部)・野上千春(体協陸上部)・成田利紀(体協陸上部)・鈴木功也(体協陸上部)・鈴木悠太(体協陸上部)・成田光(体協陸上部)・長谷川実里(体協陸上部)・今亜利沙(体協陸上部)・佐々木香(体協陸上部)・坂本千恵美(体協陸上部)／テニス：奈良英恵(体協テニス部)／ソフトテニス：工藤莉子(五商高3年)・長利美穂(五商高3年)・小山内実来(五商高3年)・長利美里(五商高3年)・青山ほのか(五商高3年)・田中大夢(弘実高2年)・葛西萌瑚(弘実高2年)・中村唯(中里中3年)・岩田菜月(中里中3年)・珍田未来(中里中3年)・木村真琳(中里中3年)・木村吏玖(中里中3年)／水泳：小山内元氣(中里中2年)／柔道：奈良翔太(弘実高3年)・野上凜音(弘実高2年)・野上莉来奈(中里中1年)・今楓香(中里中2年)／相撲：成田花道(中里中2年)・神歩武(中里中2年)／野球：越野進一(つがる市野球協会)／少林寺拳法：佐藤正星(高一3年)・石沢千帆(高一3年)／ウエイトリフティング：古川誠也(体協ウエイトリフティング部)

町特産品をPR販売

なかどまりイガ米^べくきてけフェア

町の特産品をPRしようとなかどまりイガ米くきてけフェアが2月6日(土)～2月7日(日)青森県観光物産館「アスパム」で開催されました。

このイベントは、町の業者などが参加し、海産物、野菜、加工品を販売するブースを屋内外に設置して、青森市民や観光客などをターゲットに町の特産品をPRしました。

今年はいにく雪が降る天気となりましたが、昨年同様多くの来場者が訪れ、町の特産品を買い求めていました。



野菜や加工品を販売



巨大活ダコに興味津々

屋外では、応援に駆け付けた当町イメジキャラクターの米ケル、イカリん、米ケルJr.がダンスを披露し、会場を沸かせていました。

また、ドツプやヤリイカ釣り、いかめし早食い競争などを開催したり、活ダコの展示では、家族連れなどが実際に大きいタコにさわったりしながら楽しみました。

会場ではアスパムの冬まつりもあり、さまざまなイベントが行われ、盛り上がりを見せました。

今年も宝富士関と阿武咲関が出席

町出身者の会「津軽・東京吹雪の会」

首都圏に在住する町出身者で作られている「津軽・東京吹雪の会」の総会・懇親会が、2月13日(土)上野精養軒で開催されました。今回は、約70人が参加しました。

毎年2月中旬の土曜日に行われる総会ですが、今年には天気に恵まれ快晴となりました。

開会で長利秋由会長(芦野出身)が「たくさんの人に出席していただいてうれしい。これからもどんどん盛り上げていきますのでよろしくお願いします」と挨拶しました。

町からは秋元副町長、兵庫町議会議長が参加し歓迎のあいさつを述べました。

また、今年もスペシャルゲストとして、宝富士関と阿武咲関が参加し、来場所の活躍を誓いました。

懇談では、両関取がテーブルを周って会員たちと交流、PR用特産品があたる抽選会などで楽しみました。



毎月22日は「津鉄の日」制定

駅ナカ冬まつり開催

2月22日(月)、津軽中里駅の駅ナカにぎわい空間で冬まつりが開催され、町内外から300人が来場しました。

始めに、応援にかけつけた当町イメージキャラクターのイカリん・米ケルJr.と津軽鉄道イメージキャラクターのつてつちーが登場し、会場を盛り上げました。

次に、起きて夢見る会会長の夏原謙二さんが、過去の実体験や冗談などを交えて津軽鉄道の必要性を訴えると、会場からは笑い声や賛同の声が聞こえました。

また、けの汁の振る舞いには、来場者のほかにも鉄道に乗ってきた外国人など大勢の人が列をつくりました。食べた人は「おいしい」と話し、中にはおかわりする人もいました。

その後、津軽鉄道サポーターズクラブ(会長・高瀬英人)による津鉄と地域の現状について講演が行われ、今何が必要なか振り返りました。

次に、高瀬会長が毎月22日を「津鉄の日」と制定すると宣言、「毎月22日はイベントを行いたい。津軽鉄道を中心に地域で連携し盛り上げ、鉄道や地域活性化につなげていきたい」と話していました。

最後に、べえ子ちゃんが健康ダンスを披露、新作ヤイカリん・米ケルJr.と一緒に踊ったりと会場を沸かせました。



振る舞いに大行列



べえ子ちゃんとコラボ

地域を考えるきっかけに

岸川政之氏講演会



岸川政之氏

商品開発や街づくりのアドバイザー・岸川政之氏が2月8日(月)、9日(火)に管内中学校、中里高等学校、町おこし団体を対象に町内4か所で講演会を行いました。

中学校で行われた講演会では自らが手掛けた、高校生が運営・調理する高校生レストランを紹介し、「今は夢がなくとも、行動が糧となり夢につながる」と話しました。

生徒たちは真剣な表情で講演を聞き、気になったことなどを質問していました。

講演を聞いた生徒たちは「自分の夢について考え直してみようと思った」「中泊町が好きなので、町をよくするために何ができるのか考えたい」と話していました。



真剣な表情で聞く生徒たち